

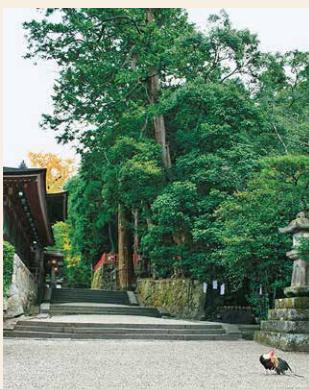
# 奈良のむかしばなし

17

文・山崎しげ子 隨筆家



石上神宮(天理市布留町)



奈良の魅力映像 BOX 石上神宮

検索

石上神宮の白砂の境内。拝殿の西側と参道脇に神杉がある。「石上布留の神杉」と『万葉集』にも詠われている。神宮はお正月、多くの初詣の人たちで賑わう。

## 布留の 烏帽子石

昔、昔、布留川のほとりに、一人のおばあさんが住んでいた。ある日、川でざぶざぶと洗濯をしていると、川上から一振りの剣が流れてきた。不思議なことに、この剣の刃に触れると、木の根も岩も、スッスッと切れてしまう。

おばあさんが、白い布でそれを拾い上げた。剣はあやしい程、光り輝いていた。「これは、普通の剣ではない。自分のものにしてはもったいない」と、神様に奉納した。正直な

おばあさんは、神主さんからたくさんのごほうびをいただいた。

この話を聞いた、隣の欲張りおばあさん。毎朝早く川へ行つてみたが、何も流れこない。

ある日、運の良い夢を見て、まだ薄暗い早朝、急いで川へ向かつた。すると、川上から烏帽子や冠が流れてくる。おばあさんは喜んでさっそく拾い上げたが、夜が明けてよく見ると、何どれも石ばかり。烏帽子の形をした石は、今も残っている。

\*

布留川の流れる奈良県天理市。その東に日本最古の神社の一つ、石上神宮が鎮座する。

JRと近鉄が接する天理駅から、東へ車で街の中を走る。やがて風景は一変し、遙か遠く二重、三重の山

が、平成2年に現在地に遷された。

### 布留の 烏帽子石

石上神宮の末社、神田神社に今も残る烏帽子石。神宮の鳥居前の道路を渡つたすぐ向かい側にある。神社はもと天理市三島町にあったが、平成2年に現在地に遷された。



### 「石上神宮」へは…

天理駅から奈良交通バス菅原行きで石上神宮前下車。

物語の場所を訪れよう



振り(生命力の再生)のための神劍・神宝を振る呪術「振る」からとも、神劍が布に留まつことからともいう。神宮のすぐ北に、のどかな田畑が広がり、布留川が流れている。その微かな瀬音は、今も、どこか神のささやきを思わせる清らかさだ。